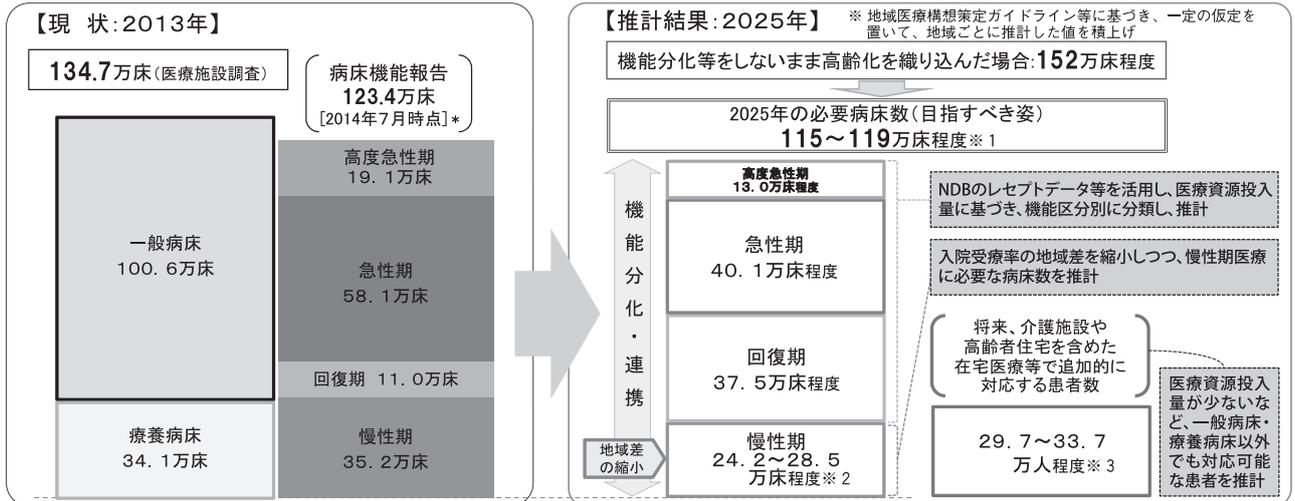


図1 2025年の医療機能別必要病床数の推計結果（全国ベースの積上げ）

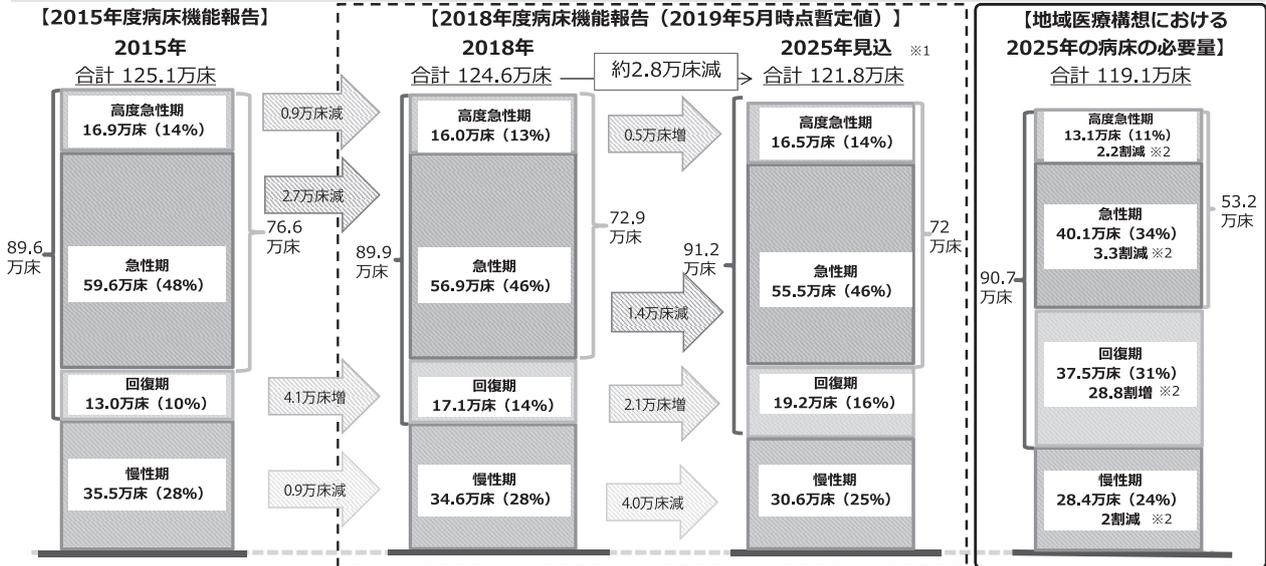


* 未報告・未集計病床数などがあり、現状の病床数（134.7万床）とは一致しない。
 ※1 パターンA：115万床程度、パターンB：118万床程度、パターンC：119万床程度
 ※2 パターンA：24.2万床程度、パターンB：27.5万床程度、パターンC：28.5万床程度
 ※3 パターンA：33.7万人程度、パターンB：30.6万人程度、パターンC：29.7万人程度

出展：「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」第1次報告（21頁）2015年6月15日

図2 病床機能ごとの病床数の推移

- 2025年見込の病床数^{※1}は**121.8万床**となっており、2015年に比べ、**3.3万床減少する見込み**だが、地域医療構想における2025年の病床の必要量と比べ未だ**2.7万床開き**がある。（同期間に、高度急性期+急性期は**4.6万床減少**、慢性期は**4.9万床減少**の見込み）
- 2025年見込の高度急性期及び急性期の病床数^{※1}の合計は**72万床**であり、地域医療構想における2025年の病床の必要量と比べ**18.8万床開き**がある。一方で回復期については**18.3万床不足**しており、「急性期」からの転換を進める必要がある。



※1：2018年度病床機能報告において、「2025年7月1日時点における病床の機能の予定」として報告された病床数
 ※2：2015年の病床数との比較
 ※3：対象医療機関数及び報告率が異なることから、年度間比較を行う際は留意が必要

資料：内閣府・経済財政一体改革推進委員会第32回社会保障ワーキング・グループへの厚生労働省提出資料「地域医療構想と全国保健医療情報ネットワークについて」（2019年5月23日）